

特定非営利活動法人 高槻の高齢社会をよくする会
第 21 回 定 期 総 会

2023 年度 総会のお知らせ

日時：2023 年 5 月 27 日（土） 午後 1：30～3：00

場所：つどいの家 はむろ

新型コロナウイルスの第 5 類への移行に伴い、世の中の活気が少しづつ戻りつつあります。まだまだ心から安心出来る状況ではありませんが、コロナ対策も継続しながら、活動を広げていけたらと考えています。

下記の通り総会を開催いたしますのでご出席宜しくお願ひ致します。

* 送迎の必要な方はご連絡下さい

* 飲み物は各自ご用意下さい

連絡先 つどいの家 はむろ TEL 072-696-8420

議 案 書

- 第 1 号議案 2022 年度活動報告
- 第 2 号議案 2022 年度決算報告
- 第 3 号議案 2022 年度会計監査報告
- 第 4 号議案 理事・監事の改選
- 第 5 号議案 2023 年度活動方針案
- 第 6 号議案 2023 年度予算案
- 第 7 号議案 その他

当日、この資料をご持参下さい

2022 年度 活動報告

I・高槻の高齢社会をよくする会

[総会]

2020、2021 年度は共にコロナの影響で集合形式での総会が持てませんでしたが、今年度は何とか少人数、短時間ではありましたが、今まで通りの総会が出来ました。

会員数 209 名中、出席者 26 名、委任状 124 名ですべての議案が原案通り承認されました。

[運営委員会]

9 回実施しました。16 名の運営委員が毎月第 3 土曜日に集まり、様々なことを話し合いました。コロナの影響が大きい中でどんなことが出来るのか、現在の会員さんの状況、「よくする会」に何を望んでおられるのかなどを話し合いました。委員の近況報告も含め、人々の集まる機会が減少している中で、委員にとっても楽しいコミュニケーションの場になった様に思います。

[理事会]

理事会は 2 回（4、11 月）開催しました。

[井戸端会]

塚原ブロック

吉田和子

塚原集会所 毎月第 1 木曜日 13：30～15：30

コロナ禍で 3 回中止になりました。

次年度に向けて、今後の井戸端会の方向性を話し合いました。皆が興味の持てる内容で、尚且つ良好なコミュニケーションを保てる様に年間計画を立て、各々が分担、協力し合いながら、一緒に進めていきたいと思っています。

お抹茶、お菓子が振舞われる時もありの「井戸端会」です。

南平台ブロック

中越優・洋子 山本洋子

南平台集会所 毎月第 3 火曜日 13:30～15:30

5 月より再開して 9 回実施しました。男性 3～4 名、女性 5～6 名の参加があり日頃のそれぞれの関心のある話題や地域情報を楽しく交換しています。

また、毎回南平台 4 丁目にお住いの石井どうじん氏に高槻の地誌や歴史についてお話を頂いております。行動的で現地を訪れた経験を含めてとても興味深く楽しいお話です。高槻の地名や標識・古墳跡などその由来や歴史などが分かると、街歩きが楽しくなります。

[行事・活動報告]

吉原暁子

新型コロナの影響がまだまだ続いている中、運営委員会ではどんな行事が出来るか繰り返し検討しましたが、安心して行える行事は見つかりませんでした。

NPO 法人取得から 21 年を経て会員の高齢化が進む中、会員の現在の状況、思い、困り事、「よくする会」に望む事などを知りたいと考え、返信用封筒を入れてアンケート調査を行いました。202 通発送で 125 通 (62%) の回答を頂き、今後の活動に役立てていければと考えています。2 月に予定していた会員の交流会も直前に「つどいの家はむろ」で発生したコロナの感染を受け、やむなく中止しました。

[ありんこの会]

戎脇美奈子、中越優・洋子、吉田和子

今年度は 21 名の利用者に 15 名の支援者が年間 397 時間(前年度 431 時間)活動しました。各種ごみ捨て、買い物、風呂や部屋の掃除、話し相手や将棋の相手、庭木の剪定や草取り、受診の付き添い、服などのリフォームなど多彩な要望に応えています。依頼件数は 130 件と減っていますが、利用者さんの入院、施設入所の方が 5 名おられたのが理由です。社会福祉協議会の依頼によるゴミ屋敷状態の方の支援はとても考えさせられました。

担当者は月初めに集まって会計処理をして請求者や領収書を作成します。利用者の状況を報告しあい、コーディネートの仕方を検討しています。なお、支援者の集会を 10 月に実施しました。

[認知症を理解し地域で支える会への支援]

中越 優

団体会員として現在 4 名の会員(竹中、中越、安井、吉原)が毎月「おおにしクリニック」で行われる定例会に参加して行事の企画運営に関わっています。認知症の人と家族のための情報交流・相談会は予定通り 7 月、11 月、3 月と 3 回、通算で 32 回目の開催でした。

新規相談者を中心に 3~4 グループに分けてそれぞれ 3 名位で十分に時間を持って相談できます。支援者側は会長の大西先生を始め、高槻の介護施設や大学の認知症専門家や看護師、ケアマネ、認知症家族(経験者)、ボランティアなど相談者より多く、行き届いた支援により、終わるころには参加者が笑顔になって帰られるのが印象的でした。

[ほっこりカフェ氷室への支援]

中越 優

コロナ禍にあって「ほっこりカフェ氷室」の「皆で食事を作って一緒に食べる活動」は今年も出来ませんでした。そこで毎月第 4 金曜日の午後 1:30~3:30、高槻バプテスト教会をお借りしてお茶を飲みながらの参加者による近況報告、デイサービスの経験を生かしたゲームや体操、頭の体操「ナゾナゾ」などを楽しみました。ゲームは「つどいの家はむろ」での経験もあってとても楽しいものになっています。

高槻ではコロナの影響でカフェをしている所が少ない中、16～21名と参加者は沢山来られて盛況でした。認知症カフェでありながら認知症という表現はしないで、ほっこりとした緩やかで居心地の良い雰囲気づくりを心掛けているため、皆さんはとても楽しみにしておられます。

会員からは竹中、中越、松井、安井、吉原が参加しています。

[よくする会だより]

石田千賀子

第74号（7月）～第75号（11月）を発行して皆様にお届けしました。

[ホームページ]

アドレス <http://www.hamuro.org>

「つどいの家はむろ」に関しては施設長の黒柳「よくする会」に関しては中越が担当し、新しい情報を伝えています。

[2022年度 ご寄付者名（敬称略）]

雨森恂子・岩田久枝・内野昌子・佐藤あさ子・志水紀代子・白井邦子・高橋多恵・波里信枝・平田富子・前川寿・松井史枝・山本洋子・吉田静子（五十音順）
その他多くの匿名の方々。物品のご寄付も頂いております。本当にありがとうございました。「よくする会」の活動が皆さまのご寄付により支えられている事を心より感謝申し上げます。

II・つどいの家「はむろ」活動報告

[事業報告]

黒柳厚雄

2022年度はコロナ禍の中で感染防止対策とウイズコロナへのスタンスをとりながらの1年でした。

5月に一芸・囲碁ボランティアを再開するものの、コロナ第7波の来襲で休止、11月には一般のボランティアの皆様の協力を頂き、お話し相手などのボランティアを再開致しました。

また本年は、職員の高齢化もあり、スタッフの入替えの多かった年でもあり、新人スタッフの研修期間中、利用者へのサービス、安全、安心を損なうことのないよう、利用者人数を制限しての運営が続き、人件費比率がアップしてしまいました。

コロナ感染に関しては11月末職員4名、利用者3名がコロナ感染し、6日間休業を余儀なくされ、第8波のピークを迎えた1月には、感染対策の為お休みの利用者が増え、収益上非常に厳しい1年でした。

次年度もコロナ感染防止策は継続した上で、事務処理の効率化と新しい加算への取組みを進め、安心、安定運営を図ってまいります。

[ボランティア]

岡本かえ子

コロナ感染防止を念頭に、一部のボランティアの方々のみに来て頂いたり、又休んで頂いたりの落ち着かない一年でした。

利用者の方の帰宅時間が3時になったことや、午後の個別機能訓練の時間が入った事もあり、一芸のボランティアに来て頂く方法をこれから考える必要があると思います。

台所のお手伝いは退職した職員等が引き続き行ってまいりました。

[地域密着型通所介護（デイサービス）]

西村照美

今年度も昨年と同様にコロナウイルス感染防止対策に気の抜けない始まりとなりました。徹底した感染防止対策を行っていたにも関わらず、11月に感染者を出してしまい、約1週間休業する事になりとても残念でした。デイのプログラムについては、昨年同様に歌は歌わず、間隔をしっかり取って行えるレクリエーションをスタッフで考え提供させて頂きました。利用者の方々に楽しんで頂くことができ、スタッフ一同安心しました。

昨年より取り組み始めた個別機能訓練と運動器機能向上のプログラムでは、コロナ禍で身体を動かす機会が減少している中、利用者の方々の筋力低下防止に役立っていると思います。少しずつコロナの対策緩和が言われている現在ですが、スタッフの週2回の抗原検査をはじめ、感染予防対策をしっかり行ないました。利用者の方々に楽しく安心して過ごして頂ける様に、スタッフ一同努力しています。

[居宅介護支援(ケアプランセンター)]

不破直子

現在、ケアマネジャー2名で地域の利用者の方々を支援しています。
住み慣れたご自宅で、自分らしい生活を続けることが出来るよう介護という視点に留まらず、生活全般を医療機関やサービス事業所と連携しながらサポートしています。
私たちケアマネジャーは

「聴く力」：単なる「聞く」ではなく心の声まで聴けるように…

「提案力」：情報をいくつか提供できるように…

「対応力」：速やかに状況判断し調整できるように…

利用者の方々と共に考えて支援しています。

[スタッフ会議]

管理者ミーティング、スタッフミーティング、デイミーティング、ナースミーティング
ケアマネミーティング、プログラムミーティングを各月一回程度、
メニュー会議 「いきいき会」と年2回程度昼食メニューの検討
その他、コロナ対策委員会、送迎ミーティングなどを隨時行いました。

2022年度[高槻の高齢社会をよくする会]活動計算書

2022年 4月 1日から 2023年 3月 31日まで

高槻の高齢社会をよくする会				
I 収入の部		予算額	決算額	備 考
	年会費	200,000	189,000	
	寄付金	200,000	229,110	
	受取利息		29	
収入合計		400,000	418,139	
II 支出の部				
1事業費	人件費	120,000	120,000	
	旅費交通費	2,000	1,600	
	行事費	50,000	11,278	運営委員会
	ありんこの会	100,000	100,000	
	会議費	20,000	2,400	
	諸会費	15,000	405,000	社協、土地鑑定費用
	予備費	10,000		
	事業費計	317,000	640,278	
2管理費	通信費	40,000	21,628	よくする会だより送付
	図書印刷費	40,000	27,618	よくする会だより印刷
	保険料	3,000		
	支払手数料		368,613	弁護士着手金費用
	管理費計	83,000	417,859	
経常費用合計		400,000	1,058,137	
当期正味財産			-639,998	

ありんこの会 2022年度会計報告

	収 入		支 出
前期繰越金	151,017	支援者謝金	330,840
本部より繰入	100,000	事務経費	598
事業収入	367,600	携帯電話代	33,222
寄付金	28,800	世話人経費	105,600
		次期繰越	177,157
合 計	647,417	合 計	647,417

(註)実質依頼件数 130 件 実働時間 397時間 1割手数料36,760円

2022年度高槻の高齢社会をよくする会会計監査報告

2022年度NPO法人高槻の高齢社会をよくする会の監査を2023年5月1日(月)に行いました。会計及び業務の執行について適正に実施されていると認められるので、以下の通り報告いたします。

記

会計監査について
各帳簿(複式)及び決算書類は正確に作成されて
いる。

業務監査について
理事会及びその他の会議に出席し、事業報告書
の内容が正しく報告されていることを認める。
以上

2023年5月1日

監査 戸 脇 美奈子



監査 鳥 四 元 沢



理事・監事の改選

現在の理事・監事の任期(2年)が今年度で切れますので、改選が必要です。

理事会からの理事・監事の改選候補者（再任と新任、辞任）の案は次のとおりです。

《理事》	吉原暁子	(再任 代表)
	丸山けい子	(再任 副代表)
	木村泰子	(再任 副代表)
	中越 優	(再任)
	坂田朱美	(再任)
	竹中邦雄	(再任)
	安井真由美	(辞任)
	黒柳厚雄	(再任)
	山原京子	(新任) 高槻市上土室 1-10-2-1103

《監事》

戎脇美奈子	(再任)
島田久江	(再任)

2023年度活動方針（案）

吉原 晓子

新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じ第5類に移行し、マスクの着用も個人の裁量にまかせるなど、世の中の移り変わりをどう受け止めるのかが問われる年になる気がします。

昨年のアンケートから会員の主流が70、80代となる「よくする会」の現状を踏まえながら、この地域で安心して暮らしていくよう、ささやかな援助や助言が出来ればと考えています。

1・会員の支え合いのネットワークを充実する

- ①会員相互のコミュニケーションを図る行事を企画する
- ②運営委員（名簿配布済み）を窓口に会員の方々に情報を届けたり、相談に乗れるようにする。
- ③つどいの家「はむろ」の介護事業の安定をはかり、情報の発信や介護相談窓口としての機能を持つ。
- ④地域の繋がりの場としての井戸端会議の充実と継続を図る。

2・関連組織との連携を図る。

- ①「いきいき会」との連携を密にし、デイサービスの昼食のみならず配食の情報も伝えていく。
- ②会員の互助活動「ありんこの会」の活動の充実を図り、支援会員、利用会員も増やしていく。
- ③「認知症を理解し地域で支える会」の活動等に参加・協力し、認知症の人とその家族の支援に貢献する。
- ④氷室のバプテスト教会で月1回開催している「ほっこりカフェ氷室」への参加・協力を呼び掛けていく。

今年度の行事予定

6月17日（土） おしゃべり会とウクレレの練習風景

（案内を同封しています）

9月16日（土） 朗読会

11月18日（土） 映画会

1月20日（土） 相続の勉強会

以上を予定しています。詳細は改めて案内を差し上げます。コロナ等の影響で中止になる場合もあると思いますが、その時はご了承下さい。

2023年度[本部事業]予算(案)

収入の部		備 考
年 会 費	180,000	180人×1000円
寄 付 金	220,000	
収 入 合 計	400,000	

支出の部		備 考
人 件 費	120,000	
旅費交通費	2,000	
行 事 費	40,000	井戸端会、交流会
ありんこの会	100,000	世話人謝金補てん
会 議 費	30,000	理事会、委員会等
諸 会 費	15,000	社協、認知症を理解し地域で支える会
通 信 費	30,000	お便り発送
図書印刷費	30,000	お便り印刷・本
保 険 料 等	3,000	行事保険、支払手数料
予 備 費	30,000	
支 出 合 計	400,000	

2023年度「つどいの家はむろ」事業予算(案)

収入の部	はむろ予算	備 考
介護保険収入	36,500,000	
雑収入	0	
収入合計	36,500,000	

支出の部	はむろ予算	備 考
給料手当	23,160,000	給与
法定福利費(雇用保険)	252,000	雇用保険・労災保険
法定福利費(社会保険)	1,320,000	社会保険
福利厚生費	50,000	検診等補助
人件費計	24,782,000	
旅費交通費	5,000	駐車場代研修交通費
外注費(昼食代)	3,300,000	昼食代
賃借料(土地代等)	2,004,000	駐車場代・地代
行事費	0	ボランティア交流会
研修費	50,000	スタッフ研修・勉強会参加費
通信費	360,000	電話携帯スマホ郵便
消耗品費	264,000	台所用品・通所活動費
事務用品費	276,000	用紙・ファイル・コピー代
修繕費	30,000	諸々の修繕費
水道光熱費	780,000	水道・プロパン・電気・灯油
支払手数料	564,000	会計士報酬・振込手数料・昇降機保守・消防関係
車両費	1,171,000	ガソリン代・車両修繕費・車検代
リース料	1,200,000	介護ソフト コピー機 パソコン関連機器
保険料	550,000	損保・火災・自動車賠償責任保険
租税公課	250,000	固定資産・自動車税
新聞図書費	20,000	定期購読本代等
おやつ材料代	96,000	おやつ購入費
衛生費	240,000	トイレ・風呂用品
諸会費	5,000	介護保険事業者協議会会費
宣伝広告費	0	求人広告・ホームページ
接待交際費	10,000	
雑費	25,000	NHK受信料
法人税当		
原価償却費		
本部繰入金		
予備費	518,000	
その他の経費合計	11,718,000	
支出合計	36,500,000	